

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 28 日現在

機関番号：34302

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370446

研究課題名(和文) 日英語の強調とぼかしの語用論的メカニズム

研究課題名(英文) Pragmatic mechanism of emphasis and euphemism in Japanese and English

研究代表者

中西 久実子 (NAKANISHI, KUMIKO)

京都外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号：30296769

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の成果は、強調とぼかしのメカニズムを語用論的に解明し、その普遍性を日本語と日本語以外の言語で示したことにある。具体的に述べると次のようになる。文献(中西久実子(2012)『現代日本語におけるとりたて助詞と習得』ひつじ書房)で明らかにした日本語におけるとりたて助詞の語用論的特徴(肯定的用法と否定的用法)が、とりたて助詞以外の形式「ておく」「だって」「てしまう」「かな」など、および、英語のjustにも適用できることを論証し、国内外の学会・論文で発表した。

研究成果の概要(英文)： The outcome of this research is to elucidate the pragmatic mechanism of emphasis and euphemism in Japanese and English. The following paper shows and guarantees the high quality of this research, because the paper has been severely refereed and accepted by the Society of Teaching Japanese as a Foreign Language. The reason why "Noun+ dakeda" becomes impermissible: Why is "Ototo wa 10-sai dakeda(My brother is just ten years old)." impermissible? In terms of the analysis of Japanese, I clarified the pragmatic mechanism of "teoku", "datte", "teshimau", and "kana", and presented the common points of these four. Furthermore, I insisted that the common points can be applied to English; i.g. just.

研究分野：日本語教育

キーワード：日本語教育 とりたて助詞 だけ 強調 ぼかし just

1. 研究開始当初の背景

まず、本研究の背景として、下記の(a)(b)がすでに明らかになっていることを以下に確認する。

(a)日本語とりたて助詞の母語話者・学習者による使用実態

とりたてとは、「文のある要素をきわだたせ、同類の要素との関係を背景にして、特別な意味を加えることである(日本語記述文法研究会(2009))」。とりたての機能をもつおもな形式は、「も」「は」「なら」「だけ」「しか」「ばかり」「こそ」「さえ」「まで」「でも」「だって」「なんか」「なんて」「など」「くらい」などのとりたて助詞である。

とりたて助詞以外にとりたての機能をもつ形式として「ただ」「単に」「特に」「なかでも」「とりわけ」「わけても」などのとりたての副詞があり(工藤浩(2000),日本語記述文法研究会(2009:15))、音声的な情報としての卓立などがとりたての機能を果たす場合もある。とりたて助詞は、鈴木重幸(1972)、沼田善子(1986a, 2000a, 2009)、寺村秀夫(1991)、高橋太郎ほか(2005)、澤田美恵子(2007)、日本語記述文法研究会(2009)などによって体系的な記述がなされているが、先行研究では日本語母語話者(以下、母語話者)の視点から分析されることがほとんどで、とりたて助詞がどう使用されているかという実態を明らかにした先行研究はなく、日本語教育の視点からも日本語学習者(以下、学習者)がとりたて助詞をどう使用しているかという実態は明らかにはされていなかった。そこで、中西(2008)(2012)では、母語話者と学習者のとりたて助詞の使用実態を話しことば・書きことばのコーパスによる大規模調査で明らかにした。

(b)日本語とりたて助詞の語用論的特徴

日本語におけるとりたて助詞の語用論的特徴(肯定的用法と否定的用法)はすでに明らかになっている。中西(2012a)(2012b)では、日本

語のとりたて助詞には肯定的用法と否定的用法があることを示し、(a)のような語用論的特徴があることを明らかにした。

(a) 肯定的用法とは「表出命題が存在しない」ということを前提にして、その前提を否定する用法である(中西(2012a:20))。これに対して、否定的用法は「パラディグマティックな命題は存在するが、表出命題は存在しない」を前提推意にして、その前提を否定して「パラディグマティックな命題は存在するのではないが、表出命題は存在しないのではない」ということを表している。

たとえば、(1)では表出命題「お粥が食べられた」が存在しないということが前提になっており、「だけ」は前提推意を外部否定で否定して表出命題が存在することを表している。他方、(2)はパラディグマティックな命題が前提になっていてその前提を否定することを表している。

- (1) 手術後は何も食べられなかったが、翌日にはお粥だけ食べられた。(作例)
- (2) 「どうしたんだ。頭痛でもするのかね」と父がおずおずと訊いた。〔略〕「いいえ、眩しかっただけ。何か海岸で、キラッと急に目を射たものがあるの」(三島由紀夫『複雑な彼』)

2. 研究の目的

本研究の目的は、強調とぼかしのメカニズムを語用論的に解明し、その普遍性を示すことである。

- まず、とりたて助詞の語用論的特徴(肯定的用法と否定的用法)をもとに、日本語における強調とぼかしのメカニズムを明らかにする(日本語の強調とぼかしのメカニズムの解明)。
- 次に、日本語における強調とぼかしのメカニズムは、とりたて助詞以外の形式にも英語など日本語以外の言語にも適用できるという仮説を立ててこれを検証する。そして、強調とぼかしのメカニズムを示して、その普遍性を実証する(英

語の強調とぼかしのメカニズムの解明)

3. 研究の方法

手順1) 仮説の構築(日本語の強調とぼかしのメカニズムの普遍性)

- 1) とりたて助詞や「ておく」以外にも強調とぼかしのメカニズムが適用できる例文を収集する。
- 2) 1)で収集した例文の前後のコンテキストを分析して肯定的用法と否定的用法に分類し、語用論的要因を明らかにする。

手順2) 仮説の検証(英語の強調とぼかしへの適用)

- 1) 英語のとりたて表現“just”について、コーパスで例文を収集する。
- 2) 1)で収集した例文を just の前後のコンテキストを分析して、英語でも肯定的用法と否定的用法があることを実証する。そして、強調とぼかしのメカニズムの普遍性を導く。

4. 研究成果

本研究の成果は、強調とぼかしのメカニズムを語用論的に解明し、その普遍性を日本語と日本語以外の言語で示したことにある。具体的に述べると次のようになる。文献(中西久実子(2012)『現代日本語におけるとりたて助詞と習得』ひつじ書房)で明らかにした日本語におけるとりたて助詞の語用論的特徴(肯定的用法と否定的用法)が、とりたて助詞以外の形式「ておく」「だって」「てしまう」「かな」などにも適用できるかを検証し、国内外の学会・論文で発表した。さらにそれを英語の just にも適用できることを論証し、国内外の学会・論文で発表した。本研究の成果の意義と独自性は、下記の査読つき投稿論文が掲載に至ったことで証明される。

中西久実子(2014)「「名詞+ただだ」が不自然になる原因—「弟は10歳ただだ」はなぜ不自然なのか—」『日本語教育』159号, pp.17-29, 日本語教育学会。

本研究の成果を具体的に述べると次のようになる。

成果1) 中西(2012a)で明らかにされた日本語におけるとりたて助詞の語用論的特徴(肯定的用法と否定的用法)が、とりたて助詞以外の形式「ておく」「てしまう」にも適用できるかを検証し、国内外の学会・論文で発表した。

成果2) 中西(2012a)をもとに、強調とぼかしのメカニズムが日本語以外の言語でも広く適用可能であるという仮説を立てて検証し、国内外の学会・論文で発表した。たとえば、英語では「It is just amazing. (まったく驚きだ!)」の「just」は強調を表している。これに対して、「It is just a joke. (それはただの冗談だ)」の「just」は「ぼかし」を表している。

<参考文献>

坂口昌子・中西久実子・由井紀久子(2012)「学部生の日本語対面コミュニケーション能力開発を目指した基礎的研究—日本語母語話者と外国語を母語とする日本語学習者の報告遂行能力のちがい—」『社会言語科学会 第30回退会発表論文集』pp.60-63, 社会言語科学会。

中西久実子(2008)『現代日本語におけるとりたて助詞の使用実態と日本語学習者の習得』大阪府立大学大学院人間文化科学研究科博士(学術)学位論文

中西久実子(2010)「日本語学習者・日本語母語話者のとりたて助詞の使用実態」『計量国語学』27-7, pp.270-282, 計量日本語学会。

中西久実子(2012a)『現代日本語におけるとりたて助詞と習得』ひつじ書房。

中西久実子(2012b)「とりたて助詞「だって」の語用論的特徴 「だって」の肯定的用法と否定的用法の違い」2012年日本語文法学会第13回大会(研究発表), 日本語文法学会(於: 名古屋大学)。

中西久実子(2012c)「「ても」の語用論的特徴 - 前提を外否定型の否定にする「ても」-」, 第

- 9 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム(研究発表), 香港日本語教育研究会 (於 ; 香港城市大学) .
- 中西久実子 (2012d) 「「～ておく」がぼかしになる語用論的要因」日本語教育国際研究大会 (ポスター発表), 日本語教育学会 (於 ; 名古屋大学) .
- 中西久実子・坂口昌子・由井紀久子・土岐哲(2011) 「報告行為の日本語プロフィシェンシーとは 母語話者の報告遂行能力調査 」2011 年度世界日本語教育大会(ICJLE).
- 5 . 主な発表論文等
〔雑誌論文〕(計 14 件)
- 1) 中西久実子 (2016 印刷中) 「「日本語を教える」と「日本語で教える」を区別することの重要性 」『研究論叢』査読有 , 第 87 号 , 京都外国語大学 .
 - 2) 北川幸子・中西久実子(2016) 「ヒト・モノを結びつけることで生み出される新たな教育リソース 日本語教員養成推進室での取組 」『無差』査読無 23 , pp.17-35 , 京都外国語大学日本語学科 .
 - 3) 中西久実子・長谷邦彦 (2015) 「遠隔テレビ会議システムを活用した協働授業のあり方 平和を題材とした日本語教育で何を重視すべきか - 」京都外国語大学 『研究論叢』 査読有 第 85 号,pp.205-220 , 京都外国語大学 .
 - 4) 中西久実子(2015) 「だけ」と「しか」の違い再考 否定的文脈で用いられない「しか」 - 」香港中文大学日本研究学科・比較日本学研究センター開所記念アジアにおける言語学 , 日本語学及び日本語教育シンポジウム 『アジアにおける日本語学と日本語教育のフロンティア』 査読無 pp.25-31 , 香港中文大学 .
 - 5) 坂口昌子・中西久実子(2015) 「グローバルな人材育成プログラムと日本語教育 -2014 年度京都外国語大学の日本語教育関連の活動を中心に」 Papers presented at the 27th International Conference on Japanese Language Teaching 2014 , 査読無 pp.156-159 .
 - 6) 中西久実子(2015) 「第二言語習得の認知プロセスからみた協働学習の効果 被爆者証言の翻訳・発信と平和を題材にした協働学習の実践 」『国際言語文化』 査読有 , 1 , 国際言語文化学会 .
 - 7) 坂口昌子・中西久実子・由井紀久子 (2015) 「外国語を母語とする日本語学習者の報告遂行能力に関する研究 日本語母語話者の問題点から考える 」 『研究論叢』 査読有 , 第 84 号,pp.167-179,京都外国語大学 .
 - 8) 中西久実子(2015) 「終助詞「かな」の語用論的特徴 「非難」「ぼかし」の用法 」『無差』 査読無 , 22 , pp.22-37 , 京都外国語大学日本語学科 .
 - 9) 中西久実子(2014) 「「名詞+ただだ」が不自然になる原因 「弟は10歳ただだ」はなぜ不自然なのか 」『日本語教育』 査読有 , 159 号 , pp.17-29,日本語教育学会 .
 - 10) 中西久実子(2014) 「とりたて助詞「でも」で言い換えられない「だって」」京都外国語大学 『研究論叢』 査読有 , 第 82 号 , pp.227-239 , 京都外国語大学 .
 - 11) NAKANISHI, Kumiko (2014) Difference between the positive and negative usages of “ Just ” 『COSMICA』 査読有 , 第 44 号 , 京都外国語大学 .
 - 12) 中西久実子(2014) 「ても」の語用論的特徴 - 肯定的用法の「ても」と否定的用法の「ても」の違い - 」『日本語教育と日本研究における双方向性アプローチの実践と可能性』 査読有 , 2014 年 11 月 15 日 . (電子版) , 11 月 20 日(印刷版)ココ出版 (第 9 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム大会論文集編集会) . 第 5 部 言語学 pp.407-419 .
 - 13) NAKANISHI, Kumiko (2013) “ Pragmatics of “ Just ” , 13th International Pragmatics Conference ,

International Pragmatics Association, 査読有 (Indian Institute of Technology).

- 14) 上田早苗・中西久実子(2013)「ウェブを活用した香港の日本語学習者と日本の日本語教育実習生の協働学習 - 「雑談」の効果 - 」『日本学刊』査読有, 第 16 号, pp.145-164, 香港日本語教育研究会.

〔学会発表〕(計 6 件)

- 1) 中西久実子(2015)「肯定的文脈で用いられる「しか」とりたて助詞「だけ」と「しか」の違い再考」香港中文大学比較日本学研究センター開所記念シンポジウム「アジアにおける言語学, 日本語学及び日本語教育シンポジウム - アジアにおける日本語学と日本語教育のフロンティア - 」での招待講演 (香港中文大学, 香港 (中国))
- 2) 中西久実子(2014)「日本語ピア・ラーニングにおけるジグソー学習法の活用と語彙のインテイク 『みんなの日本語中級』を使った実践を中心に」香港日本語教育研究会第 10 回国際大会日本語教育・日本語研究シンポジウム「変化する国際社会における課題と可能性」(於: 香港大学專業進修学院)平成 26(2014)年 11 月 15 日 ~ 16 日 SOCIETY OF JAPANESE LANGUAGE EDUCATION HONG KONG (於: 香港 (中国)).
- 3) 中西久実子(2014)「第二言語習得の認知プロセスからみた協働学習の効果 被爆者証言の翻訳・発信と平和をテーマにした協働学習の実践 - 」京都外国語大学国際言語文化学会第 2 回大会 (於: 京都外国語大学, 京都府京都市).
- 4) 中西久実子 (2013)「終助詞「かな」の語用論的特徴 「疑念」「ぼかし」「非難」の違い」日本語用論学会第 16 回大会研究発表(会場: 慶應義塾大学, 東京都)
- 5) 中西久実子 (2013)「強調の「ただだ」が不自然になる原因 - 「それは千円だけだ」はなぜ不自然なのか - 」日本語文法学会第 14 回大会 (於: 早稲田大学, 東京都)
- 6) NAKANISHI, Kumiko (2013) “ Pragmatics of

“ Just ” 13th International Pragmatics Conference, Indian Institute of Technology (IIT)), International Pragmatics Association(IPrA) , (New Delhi, 8-13 September 2013)

〔図書〕(計 12 件)

- 1) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2016)『大家的日語中級 2』外語教学与研究出版社, 総頁数 191 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 2) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2016)『みんなの日本語 中級 翻訳・文法解説ベトナム語版』大新書局, 総頁数 191 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 3) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2016)『大家的日語中級 文法解説・問題解答・聴解解答』大新書局, 総頁数 197 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 4) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2015)『大家的日語中級』大新書局, 総頁数 255 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 5) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2015)『大家的日語中級』大新書局, 総頁数 247 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 6) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2016)『大家的日語中級 文法解説・問題解答・聴解解答』大新書局, 総頁数 197 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 7) 高梨信乃・中西久実子(2015)『みんなの日本語 中級 くり返して覚える単語帳』スリーエーネットワーク, 総頁数 85 頁(共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能).
- 8) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2014)『みんなの日本語 中級 翻訳・文法解説ベトナム語版』スリーエーネットワーク,

総頁数 191 頁（共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能）。

- 9) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2014)『みんなの日本語 中級 教え方の手引き』スリーエーネットワーク，総頁数 245 頁（共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能）。
- 10) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2014)『みんなの日本語 中級 翻訳・文法解説ドイツ語版』スリーエーネットワーク，総頁数 191 頁（共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能）。
- 11) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2013)『みんなの日本語 中級 翻訳・文法解説スペイン語版』スリーエーネットワーク，総頁数 191 頁（共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能）。
- 12) 関正昭・鶴尾能子・中西久実子他(2013)『みんなの日本語 中級 翻訳・文法解説ポルトガル語版』スリーエーネットワーク，総頁数 191 頁（共同研究による執筆のため、担当部分抽出不可能）。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中西 久実子 (NAKANISHI, Kumiko)

京都外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号：30296769